

【記載例】[調書(1)]

(団体・事業所推薦用)

調書 (1)

(様式第1-1)

令和8年11月20日現在

職業部門番号	職種名(1)	職種名(2)
5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工

職業部門番号欄、職種名(1)、(2)欄

「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参考に職種を記入してください。障害者部門に応募する際は番号を「21」とし、被推薦者が従事している職種を別表を参考に職種名欄へ記入してください。

氏名・現就業先事業所名の外字欄

被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ずここに記載してください。

ふりがな	ぎのう しゅういち	性別	男	生年月日	氏名・現就職先事業所名の外字
氏名	技能 秀一	年齢	〇×	昭和41年12月10日	例:「藤」は草冠が「十」のように離れた字

氏名・ふりがな欄

住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前の上に全角スペースを1つ挿入してください。

生年月日・年齢欄

生年月日を入力すると和暦に変換されます。年齢欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入されます。

【入力例】

○「S15.10.9」「S15/6/23」「1943/2/25」「昭和35年12月13日」
×「1940.7.7」「1942.6/18」「昭15年10月24日」→エラー

現住所	職歴/公職・団体歴	在職/在任期間(年月日)	在職/在任年数
〒 000-0000 静岡県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇 〇〇マンション〇〇号室 TEL 000-000-0000	株〇〇電機第二製造部〇〇課 に電子機器組立て工として就職 同 主任 同 〇〇長 同 課長として現在に至る 〇〇技能士会 会長	昭和62年4月1日 ~ 平成7年3月31日 ~ 平成11年4月1日 ~ 平成21年9月30日 平成21年10月1日 ~ 平成30年3月31日 平成30年4月1日 ~ 令和8年11月20日 ~ ~ ~ ~ 平成27年4月1日 ~ 平成30年3月31日 ~ ~ ~ ~	8年0か月 10年6か月 8年6か月 8年7ヶ月 3年0か月
		職歴 在職期間 計	39年7ヶ月
		公職・団体歴 在任期間 計	3年
現職については、令和8年11月20日をもって終期とすること。			

現住所欄

被推薦者の現住所および電話番号を省略等せずに記入してください。住民票の住所と実際に居住している住所が異なる場合は、住所を入職してください。

職歴/公職・団体歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入してください。団体歴、公職歴、家事手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に就いていた期間は記入しないでください。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴となります。現役の職歴は最後に「として現在に至る」などと記入してください。また、公職・団体歴は職種との間にスペースを設け、正式名称(支部まで)と役職を記入してください。

【記載例】[調書(1)] つづき

就業先			
事業所名	株式会社〇〇製作所 〇〇工場		
被推薦者 現職名	〇〇部〇〇課	課長	
事業内容	電子計算機組立て		
事業所全体の 従業員数	120人		
所在地			
〒	000-0000		
	静岡県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇		
	TEL 000-000-0000		

就業先欄

雇用されている場合は雇用事業所名を、自営している場合は屋号等をそれぞれ省略せず正確に(法人格を省略したりしないこと)、拠点名等(例:「〇〇工場」「〇〇支店」「〇〇営業所」など)があれば記載してください。また、所在地欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さずに記入してください。令和8年11月19日以前に就業地が変更となることが推薦時に確定している場合は、カッコ書きで「(〇月〇日より変更予定)」などと明記してください。また、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡してください。

事業所全体の従業員数欄

被推薦者も含めた人数を半角数字のみで入力してください。「人」は自動で挿入されます。就業者が被推薦者のみの場合は、0ではなく1を入力してください。

表彰歴欄

表彰(技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入してください。)を有する場合、その種類ごとの有無欄に「〇」を付し、表彰の概要及び取得年月を記入してください(表彰を証する書面の写しを全て添付すること)。なお、技能に関連する表彰でない、例えば「感謝状」「永年勤続表彰」等は記入しないでください。

表彰歴	有無	表彰の概要	取得年月	
	大臣表彰	〇	創意工夫功労者賞	令和2年4月
県知事、市長表彰等	〇	〇〇市技能功労者賞	平成26年11月	
全国レベルの業界団体表彰				
その他	〇	静岡県技能士会連合会 優秀技能士	平成24年11月	
免許・資格等	有無	免許・資格の概要	取得年月	
	職業訓練指導員免許	〇	電子科	平成12年3月
	技能検定委員	〇	電子機器組立て職種	平成13年~29年
	特許・実用新案等			

職業訓練指導員免許の取得歴又は技能検定委員の委嘱歴等欄

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、有無欄に「〇」を付し、免許・資格等の概要と取得年月を記入してください。なお、推薦を受ける技能と直接関係がない技能に関するものは記入しないでください(免許取得又は委嘱などを証する書面の写しを全て添付すること)。

【記載例】 [調書 (1)] つづき

大会入賞歴等	認定年度	業種	職種	技能検定	技能士の名称	取得年月	
	静岡県技能マスター					1級電子機器組立て技能士	平成10年12月
	ものづくりマスター						
	全技連マスター						
	開催回	参加職種	順位				
	技能グランプリ						
	技能五輪国際大会入賞歴						
技能五輪全国大会入賞歴	第35回	電子機器組立て	銅賞				

大会入賞歴欄

静岡県技能マスター、ものづくりマスター、全技連マスターに該当する場合は、認定された年度、業種、職種を記入してください（認定を証する書面の写しを全て添付すること）。技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入してください（入賞を証する書面の写しを全て添付すること）。

技能検定欄

該当する場合は、技能士の名称（〇級〇〇技能士）と取得年月日を記入してください（技能士証の写しを全て添付すること）。なお、級は一級、二級等のように漢数字で表記し、単一級の場合は「単一級〇〇技能士」と明記してください。様式第1-3及び1-4には記載箇所がないため様式5-2に記入すること。

【記載例】 [調書 (2)]

刑罰の有無（過去に禁錮刑以上の刑に処せられたことが有るか否か）	有	<input checked="" type="radio"/> 無	不明
---------------------------------	---	------------------------------------	----

刑罰の有無欄

過去（推薦日以前）において、禁錮刑以上の刑に処せられたことが有るか否かについて、いづれかに「〇」を付けてください。

推薦者及び推薦理由欄

推薦者（団体・事業所等）の名称、代表者氏名、担当者氏名、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス及びその推薦理由をしてください。ただし、代表者が空席時等やむをえない場合は職務代行者であることを明記した上で、職務代行者名を記入してください。

団体・事業所推薦の場合

推薦者及び推薦理由			
推薦団体名	静岡県〇〇技能士会		
代表者氏名	会長	〇〇	〇〇
	担当者氏名	事務局長	〇〇
推薦団体住所	〒 000-0000 静岡県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇		
電話番号	000-000-0000	FAX番号	000-000-0000
E-mail	aaaaaaa@bbbb.or.jp		
(推薦理由)			
電子分野の試作品製作における「はんだ付け」を始め、試作品の完成されるまでに必要な電子回路技術、組付技能、計測・評価技能などの電子機器組立てに関する技能に卓越している。その技能を生かして、宇宙産業機器や自動車用電子制御製品、ITS製品などの多くの試作を担当し、製品化まで導いた。また、幾多の改善による生産性及び品質の向上や、職場安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、電子機器組立てに関する優れた技能を伝承するなど、多くの実績があるため推薦する。			

個人推薦の場合

推薦者・賛同者及び推薦理由欄

推薦者の他に賛同者2名分の所属先、氏名、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス及び推薦理由を記入してください。

推薦者及び推薦理由	
推薦者所属先 (株)〇〇製作所 推薦者氏名 〇〇 〇〇	推薦者住所 〒000-0000 静岡県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇 電話番号 000-000-0000 E-mail aaaaaaa@bbb.co.jp
賛同者所属先 (株)〇〇製作所 賛同者氏名 〇〇 〇〇	賛同者住所 〒000-0000 静岡県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇 電話番号 000-000-0000 E-mail ccccccc@ddd.co.jp
賛同者所属先 (株)〇〇製作所 賛同者氏名 〇〇 〇〇	賛同者住所 〒000-0000 静岡県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇 電話番号 000-000-0000 E-mail eeeeeee@fff.co.jp
(推薦理由)	

優秀技能者の概要欄

調書記載要領を参照の上、記入してください。なお一葉で記入することが困難な場合は、調書(3)(2葉目)まで記載しても差し支えありません。

優秀技能者の概要			
技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要	現役性
電子分野の試作品製作に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1. 高信頼性を保障する組立技能 電子機器組立の「はんだ付け」技能と、振動を考慮した組立技能を修練し、その経験と研究の中から、信頼性の高い工法や工程を生み出したその技能は、ハイブリッド車や燃料電池車に搭載されている電子制御製品の試作でも基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。 2. プリント板アートワーク技能	1. 宇宙産業機器への貢献 人工衛星搭載用の低振動モータ東中環境測定装置の製作において、米国航空宇宙局の要求貴じゅんんをクリアし、製品化を実現した。この技能は、現在運用中の国際宇宙ステーションの実験モジュール内で使用する真空ポンプ用コントローラの製造にも用いられ、宇宙産業事業の拡大に貢献した。 2. モータスポーツ活動への貢献 エンジン性能の向上を目指したエンジン制御用コンピュータの試作と量産に取り組んだ結果、高性能な電子部品の組付け品質の向上に貢献した。 現在、この工法は標準化され、試作品	1. 電機・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに〇〇名を合格させ、静岡県技能競技大会において1位入賞者〇〇名を輩出した。 2. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに〇〇人を全国大会に出場させた。大会では1位入賞〇名の成績を獲得させると共に〇〇年の国際大会でも1位入賞を果たさせる等、大会指導能力を発揮した。 3. 技能検定補佐員として〇〇年にわたり尽力し、〇〇年から技能検定委員として、検定(電子機器・配電盤組立て)の運営に貢献し、現在も県議脳検定専門委員として活躍している。	技能五輪選手を指導する後進の指導員や技能五輪選手の指導、現場監理に尽力している。 また、自ら電子機器組立工として、訓練課題の製作作業に日々従事している。現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。 就業時間〇時間 1. 漆器課題の検討及び仕様書類の作成(〇時間) 2. 指導方法や訓練内容の検討及び改善(〇時間) 3. 職場内の巡視と指導員や選手への指導・教育(〇時間)

障害者部門へ推薦する場合のみ

【記載例】[調書(1)]

障害名・障害程度欄

被推薦者の障害者手帳に記載されている障害名及び障害程度をプルダウンから選択してください(必要に応じて、障害者手帳の選択した内容を証する部分の写しを添付すること。)

障害名・障害程度	障害名	有無	障害程度 (第1種、 第2種)	障害程度 (等級)	障害名	有無	障害程度	障害名	有無	障害程度
	身体障害(視覚障害)				知的障害		療育手帳による 程度の区分	精神障害		
	身体障害(聴覚障害)	○		2級						
	身体障害(音声・言語)									
	身体障害(肢体不自由)									
	身体障害(内部障害)									
<p>【障害程度について】</p> <p>○療育手帳による程度の区分 療育手帳等で次の記載が確認される場合は「A」を選択(㊤、A、A1、A2、A3、1度、2度、A度、A中、A2a、A2b、A最重度、A重度)。それ以外は「B」を選択。</p> <p>○重度知的障害者判定による重度判定 療育手帳による程度の区分「B」のうち、地域障害者職業センターが行う重度知的障害者判定を受け、判定書が交付された者について、当てはまる判定を選択</p>										

【記載例】[調書(2)]

大会入賞歴等		開催回	参加種目	順位
	国際アビリンピック			
	アビリンピック全国大会			
	アビリンピック地方大会			

大会入賞歴欄

技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入してください(入賞を証する書面の写しを全て添付すること。)